

研究所活動記録 2017-2018年度

雑誌名	アジア文化研究所研究年報
巻	53
ページ	205(34)-223(16)
発行年	2019-02
URL	http://id.nii.ac.jp/1060/00010996/



研究会合報告—2017年度～2018年度

シンポジウム・講演会・研究例会ほか

〈年次集会〉

●第12回年次集会

日時：2018年1月20日(土)

会場：東洋大学白山キャンパス2号館16階スカイホール中央

- ・開会の挨拶：アジア文化研究所所長 松本誠一

【井上円了記念大型研究特別支援助成 「一帯一路」経済政策による中国経済の海外進展とその関係諸地域に及ぼす文化的影響】

- ・司会：郝仁平（アジア文化研究所研究員）
- ・「本研究の課題と本年度の成果一次年度以降の展望をみすえて」後藤武秀（アジア文化研究所客員研究員）
- ・「一帯一路」イニシアティブに関する研究動向：日本語、中国語、英語学術論文の比較研究」梁凌詩ナンシー（アジア文化研究所研究支援者）
- ・「中東地域における中国語教育の実状」三沢伸生（東洋大学アジア文化研究所研究員）、子島進（東洋大学アジア文化研究所研究員）、福田義昭（東洋大学アジア文化研究所客員研究員）

【院生研究員発表】

- ・「韓国系キリスト教会における地域福祉活動の特徴」荻翔一（東洋大学アジア文化研究所院生研究員）
- ・「安史の乱と権門貴族」小林栄輝（東洋大学アジア文化研究所院生研究員）
- ・「近代朝鮮の民衆と電信線」中村祐也（東洋大学アジア文化研究所院生研究員）

【研究員・客員研究員発表】

- ・「井上円了1919年5月21日書簡について一埋もれていた漢口からの書簡」横川伸（東洋大学アジア文化研究所客員研究員）
- ・「能海寛の漢詩連作と最後の旅立ち」飯塚勝重（東洋大学アジア文化研究所客員研究員）
- ・「冷戦期における日本の中東政策」シナン・レヴェンド（東洋大学アジア文化研究所客員研究員）

【研究所プロジェクト報告】

- ・「珠江デルタ地帯における西洋近代法と伝統的宗法の対立と同化に関する研究」（井上プロジェクト）
- ・「アジア諸言語史資料の汎用性データベース開発と構築」（三沢プロジェクト）・「在日ムスリムによる多文化共生社会構築の試み—インドネシア人、トルコ人、パキスタン人の宗教ネットワークを事例に—」（子島プロジェクト）
- ・閉会の挨拶：後藤武秀（アジア文化研究所研究員）



開会の挨拶



会場風景

〈シンポジウム〉

●東洋大学アジア文化研究所 公開シンポジウム「刻まれた記憶と記録—中国石刻史料データベースの構築・活用と可能性—」

日時：2018年9月29日(土)

会場：東洋大学白山キャンパス 2号館16階スカイホール

主催：井上円了記念研究助成研究所プロジェクト「アジア諸言語史料の汎用性データベースの開発と構築」(研究代表：三沢伸生・東洋大学社会学部教授)

共催：井上円了記念研究助成「宋代墓誌の基礎的研究」(研究代表：竹内洋介・東洋大学アジア文化研究所客員研究員)、東洋大学アジア文化研究所「東アジア地域における統合と交流」研究班(代表：千葉正史・東洋大学文学部教授)

後援：白山史学会

プログラム

【司会】

- ・大室智人(東洋大学文学部 非常勤講師)

【報告者】

- ・前島佳孝(中央大学文学部 兼任講師)「伝遼東襄平李氏研究と墓誌銘」
- ・梶山智史(明治大学文学部 兼任講師)「北朝における墓誌の普及と類型」
- ・竹内洋介(東洋大学文学部 非常勤講師)「宋代墓誌の概況と傾向」
- ・速水大(國學院大学文学部 兼任講師)「宋代開封繁塔石刻に見える寄進者の整理と分析」
- ・高橋継男(東洋大学 名誉教授)「近年の中国石刻関係図書の出版状況」

【コメンテーター】

- ・氣賀澤保規(東洋文庫 研究員)

●東洋大学アジア文化研究所能海寛生誕150年記念シンポジウム「新仏教徒 能海寛—哲学館からチベットへ—」

日時：2018年10月20日(土)

会場：東洋大学白山キャンパス 2号館16階スカイホール

主催：東洋大学アジア文化研究所・能海寛150年記念事業実施委員会
共催：井上円了記念博物館



会場風景

プログラム

【開会の辞】

- ・記念事業開催挨拶 竹村牧男（東洋大学学長）
- ・記念事業実施挨拶 松本誠一（東洋大学教授）
- ・総合司会 後藤武秀（東洋大学教授）

【第一部 基調講演】

- ・隅田正三（能海寛研究会事務局長）「能海寛が実践した「新仏教徒運動」
- ・岡崎秀紀（能海寛研究会会長）「哲学館で育んだ能海寛の「世界仏教への道—主著『世界に於ける仏教徒』（明治26）とその背景—」
- ・三浦節夫（東洋大学教授）「仏教近代化の先駆者—井上円了と能海寛—」

【第二部 パネルディスカッション「新仏教徒 能海寛への観点」】

- ・コーディネーター
松本誠一（東洋大学教授）
- ・パネリスト報告
江本嘉伸（地平線会議世話人代表）「今能海寛を考える」
千葉正史（東洋大学教授）「清末中国奥地の郵便事情—能海寛の手紙より探る」
飯塚勝重（東洋大学アジア文化研究所）「新仏教徒能海寛の宗教的心情」
奥山直司（高野山大学教授）「[能海寛を研究する] から [能海寛に学ぶ] へ」
- ・討論

【閉会の辞】

●東洋大学アジア文化研究所 公開シンポジウム「粤港澳大湾区における一帯一路の展開」

日時：2018年12月1日（土）

会場：東洋大学白山キャンパス2号館16階スカイホール

主催：アジア文化研究所

プログラム

- ・開会の辞 井上貴也（東洋大学法学部 教授）
- ・報告者① 「珠江三角地帯から粤港澳大湾区への発展」後藤武秀（東洋大学法学部 教授）
- ・報告者② 「粤港澳大湾区におけるマカオの位置づけとその役割」易在成（マカオ科技大学 副教授）
- ・報告者③ 「粤港澳大湾区における産業学の発展と大学の機能」马文渊（清華大学 創業教育センター）
- ・報告者④ 「粤港澳大湾区と会社法の発展」朱大明（北京大学国際法学院 副教授）
- ・全体総括
- ・閉会の辞 郝仁平（東洋大学経済学部 教授）



全体総括



手前左から易在成先生、馬文淵先生、朱大明先生、奥左から郝仁平研究員、松本誠一研究員、後藤武秀所長、井上貴也研究員

〈研究例会〉

●アジア文化研究所2018第1回研究例会

「『一帯一路計画の最前線—粵港澳大湾区の変貌—」

日時：2018年6月9日(土)

会場：東洋大学白山キャンパス 2号館14階法学部共同研究室

主催：東洋大学アジア文化研究所（井上円了記念研究助成・大型研究特別研究支援助成に基づくプロジェクト『『一帯一路』経済施策による中国経済の海外進展とその関係諸地域に及ぼす文化的影響』研究代表者：後藤武秀）

プログラム

- ・「珠海デルタ地帯の現地調査報告—自由貿易特区横琴の町づくり」後藤武秀（アジア文化研究所所長）
- ・「一体化する粤港澳（広東・香港・マカオ）経済圏」郝仁平（アジア文化研究所研究員）
- ・「香港・マカオ・珠海の交通網の構築」梁凌詩ナンシー（アジア文化研究所客員研究員）



●アジア文化研究所2018第2回研究例会

「膨張する空路と収縮する国境線 韓国における航空業界の成長とトランスナショナルなライフスタイルの普遍化」

日時：2018年6月30日(土)

会場：東洋大学白山キャンパス6213教室

主催：東洋大学アジア文化研究所

プログラム

- ・開会の辞 後藤武秀（アジア文化研究所所長）
- ・趣旨説明 吉川美華（アジア文化研究所客員研究員）

- ・講演「韓国航空会社の挑戦」玄東實（アジアナスタフサービス常勤顧問 元アジアナ航空副社長）
- ・討論 井出弘毅（アジア文化研究所客員研究員）
- ・質疑応答
- ・閉会の辞 松本誠一（トランスナショナルリティ研究班代表）

企画目的

日韓交流1千万時代の到来、一年間に韓国人の2割が日本を訪れるのは何故？

レガシーキャリアはLCCの躍進にどう対抗？韓国の航空業界は日本の航空業界をどう見るか？大韓航空を経てアジアナ航空の副社長を勤めた玄東實さんが航空業界の現実と展望を語っていただきました。



●アジア文化研究所2018第3回研究例会「中国経済の構造変化と産業・企業発展」

日時：2018年7月12日(木)

会場：東洋大学白山キャンパス5404教室

共催：東洋大学アジア文化研究所・アジア文化研究所内
「構造転換期の中国経済と社会」研究班（代表：
郝仁平）



会場風景

プログラム

- ・総司会 郝仁平（アジア文化研究所研究員）
- ・開会の辞 後藤武秀（アジア文化研究所所長）
- ・報告者①「The Oversea Expansion and Its pitfalls with Chinese ICT Equipment Firms—Focusing on the ZTE Co. Ltd. Case」劉永鵬（アジア文化研究所研究員）
- ・報告者②「産業発展と都市・農村間所得格差の変化」袁岳駟（湖南科学技術大学准教授／東洋大学外国人研究員）
- ・報告者③「The product Architecture and Organization in Japanese Digital Still Camera Industry」郭媛ユ（大学院経営学研究科博士後期課程）
- ・報告者④「中国における経営者の「在職消費」とコーポレート・ガバナンス」陳塵（大学院経営学研究科博士後期課程）
- ・総括と質疑応答

●アジア文化研究所2018第4回研究例会「東アジア地域における統合と交流」研究班・研究報告会

日時：2018年12月15日(土)

会場：東洋大学白山キャンパス6319教室

共催：東洋大学アジア文化研究所・アジア研究所内「東アジア地域における統合と交流」研究班（代表：千葉正史）

プログラム

- ・司会 千葉正史（研究班代表・研究員・文学部教授）
- ・報告1「義和団事件後のロシアの動向と京張鉄路の建設決定」程楽（院生研究員・大学院文学研究科史学専攻博士後期課程）
- ・報告2「唐後半期における武官の一考察」小林栄輝（院生研究員・大学院文学研究科史学専攻博士後期課程）
- ・報告3「「丞相」とは誰か ―李徳裕帰葬問題再考―」竹内洋介（客員研究員・文学部東洋思想文化学科非常勤講師）

〈学 会〉

●アジア文化研究所2018研究例会「なにもない、島の魅力ーアルキペラゴの島々／さぬき広島茂浦集落を中心に」・島嶼コミュニティ学会【第14回 島カフェ】

日時：2018年5月12日（土）

会場：東洋大学白山キャンパス

主催：島嶼コミュニティ学会

後援：東洋大学アジア文化研究所

講師：齋藤潤（著述家・旅行家）



会場風景

人名の島々として知られる塩飽諸島で最大の面積を誇る広島。観光的に見るべきものはあまりなく、7つの集落が点在し広くて移動するのも不便。唯一の特産品は花崗岩の一種である、青木石だ。1999年に1度訪れたとき、再訪する気になれなかった面白味のない島へ、それから14年後、情報が極端に少ない謎の島として取材に出かけ、今度は嵌まってしまった。

それから4年で、30回ほど訪ねることになった茂浦集落を中心に、旧広島村（広島、手島、小手島からなる）に眠る文化的な魅力について語られた。

●アジア文化研究所後援「パプア・ビクア島で遭遇した大東亜戦争の痕跡——泉靖一の足跡を訪ねて」・島嶼コミュニティ学会【第15回 島カフェ】

日時：2018年7月14日（土）

会場：東洋大学白山キャンパス4B11教室

主催：島嶼コミュニティ学会

後援：東洋大学アジア文化研究所

プログラム

講師：全京秀（ソウル大学校名誉教授／中国貴州大学特聘教授）

要旨：韓国人類学の歴史を調べ始めると、それが日本人類学史の一部に組み入れられていることを知り、日本人類学史の研究を始めた。その過程で名を大きく残した方が、泉靖一（1915-1970）という文化人類学者である。彼の足跡を求めて資料を探ると、ニューギニア島の北に位置するビアク島で人類学的作業を行ったということを知るに至った。大東亜戦争の最中、ビアク

島で泉が残した人類学的軌跡を辿った。

●アジア文化研究所協力「2018年度日本華僑華人学会研究大会」日本華僑華人学会

日時：2018年11月17日(土)

会場：東洋大学白山キャンパス125記念ホール

主催：日本華僑華人学会

協力：東洋大学アジア文化研究所

プログラム

【分科会】

- ・「東南アジア・東アジア間の華僑華人ネットワーク再考：客家系商人家族の事例研究から」

代表者：芹澤知広（奈良大学）

発表者：工藤裕子（東洋文庫），陳來幸（兵庫県立大学），芹澤知広

【個人発表】

- ・宮原暁（大阪大学グローバルイニシアティブ・センター）「『僑批』と『唸経』の文脈—華僑華人研究における多声的翻訳モデルの可能性」
- ・石川朝子（帝京大学）「日本の中華学校の教育改革の現在」
- ・横田祥子（滋賀県立大学）「ダヤック人の神格化に見る世界観の交差—インドネシア西カリマンタン州の民間信仰から」
- ・王維（長崎大学）「ザンジバル華人社会の再構築」

【開催校企画シンポジウム「変貌を遂げる21世紀の華僑社会」】

- ・趣旨説明

山本須美子（東洋大学）

- ・登壇者

奥村（平島）みさ（東洋大学）「新華僑が変えるシンガポール華人社会」

田嶋淳子（法政大学）「イタリアにおける中国系ニューカマーのコミュニティ形成をめぐって」

シ・ゲンギン（京都大学）「南部アフリカにおける新華僑」

川口幸大（東北大学）「21世紀の僑郷—何が変わり、何が変わっていないのか」

- ・コメンテーター

山下清海（立正大学）

張玉玲（南山大学）

【総会】

●アジア文化研究所後援「東アジアのコミュニティ比較／동아세아 커뮤니티 비교」島嶼コミュニティ学会【2018 韓国・済州特別研究大会】

日時：2018年12月15日(土)

会場：韓国・済州特別自治道 済州市国立・済州大学校

主催：島嶼コミュニティ学会

後援：済州大学校 ユ・チョリン教授，東洋大学アジア文化研究所

プログラム

【特別講演】

- ・ユ・チョリン（済州大学校）「済州島と日本——島嶼性、〈在日〉、海女の出稼ぎ」

【報告】

- ・荻翔一（東洋大学大学院博士後期課程／東洋大学アジア文化研究所院生研究員）「在日コリアン教会の再建過程における民族団体の役割」
- ・立柳聡（福島県立医科大学）「東アジアにおける親夫婦と子ども夫婦が別居する慣行の源流——種族文化複合論と照葉樹林文化論の視点から」
- ・田上敦士（広島商船高等専門学校）「離島振興のための方策——サテライトオフィスの可能性について」

【特別報告】

- ・玄東實（アジアナスタッフサービス株式会社常勤顧問）「在日済州郷土親睦会の役割と現状——W里相互会」

〈その他研究会等〉

●アジア文化研究所子島プロジェクト報告会「シリア人によるNGO活動—2018年8月のトルコ調査から—」

日時：2018年10月6日（土）

会場：大塚モスク

共催：ジャパン・イスラミック・トラスト、東洋大学アジア文化研究所（井上円了記念研究助成研究所プロジェクト「ムスリムによる多文化共生社会構築の試み—インドネシア人、トルコ人、パキスタン人の宗教ネットワークを事例に」研究代表者：子島進）

プログラム

- ・報告1「シリア人によるNGO活動の概要—イスタンブールとガジアンテプの調査から」子島進（東洋大学）
- ・報告2「トルコにおけるシリア人によるシリア支援の展開と実態—医療支援からインフラ整備まで」佐藤麻理絵（立命館大学）

企画内容

大塚モスク（ジャパン・イスラミック・トラスト）は、国内外で盛んにボランティア活動を行っていることで知られています。モスクから派生し、グローバルに展開する慈善活動のネットワークは、イスラーム研究の観点から魅力的です。また、外国人が急増しつつある日本で、市民社会における新しい潮流としても注目すべきものでしょう。

今回、大塚モスクが寄付を送っているNGOの聞き取り調査をトルコで行いました（これらのNGOはシリア国内で活動を行っていますが、聞き取りはトルコ国内で行いました）。その結果、それまでNGOを組織した経験



会場風景

のない多くのシリア人が人道支援のために結集し、食糧の配布から、医療、教育、水や住宅といったインフラの整備まで幅広い分野で活動を展開していることがわかりました。(子島進)

●アジア文化研究所後援「2018年度大学教育における「海外体験学習」研究会年次大会開催」

日時：2018年12月16日(日)

会場：東洋大学白山キャンパス6209教室

主催：大学における「海外体験学習」研究会

後援：東洋大学アジア文化研究所・アジア文化研究所内「アジアにおけるフィールドワーク実践の歴史的展開に関する研究」研究班（代表：箕曲在弘）

プログラム

【全体会】「海外体験学習における体験の表象化——その多様な方法に着目して——」

- ・趣旨説明 藤原孝章（同志社女子大学）
- ・進行 梅村尚子（東京農工大学）

【分科会 第一部】

- ・第一セッション「コラージュづくり」
発表1 藤原孝章（同志社女子大学），他学生・卒業生2名
発表2 中山京子（帝京大学），他学生・卒業生3名
- ・第二セッション「体験の言語化」
発表1 岩井雪乃（早稲田大学），他学生3名
発表2 箕曲在弘（東洋大学），他学生3名
- ・第三セッション「リスクコミュニケーション」
発表 齋藤百合子（明治学院大学）
進行 岡島克樹（大阪大谷大学）

【分科会 第二部】

- ・第一セッション「コラージュづくり」
- ・第二セッション「体験の言語化」
- ・第三セッション「リスクコミュニケーション」

【総括】

【情報交換会】

研究所所報—2017年度～2018年度

アジア文化研究所日誌（2018年1月～2018年12月）

(2017年度)

1月

20日 第6回運営委員会

【審議事項】 1. 平成29年度第5回運営委員会（11月18日開催）議事録（案）について 2. 『研究年報2017年』第52号の編集について 3. 第13回年次集会の日程について 4. 今年度後期の予算執行について 5. 出張について 6. アジア文化研究所平成29年度研究員総会について 3/12(月)開催 7. 平成30年度研究班について 8. 平成30年度研究員登録について 9. 平成30年度客員研究員登録について 10. 平成30年度アジア文化研究所運営委員・体制について 11. その他

【報告事項】 1. 各作業部会からの報告①各研究所プロジェクト活動状況について②各研究班活動状況について③各担当について（集会、ホームページ、編集、国際） 2. 第12回年次集会（平成30年1月20日(土)13:00～）について 3. その他

20日 年次集会

【井上円了記念大型研究特別支援助成「一带一路」経済政策による中国経済の海外進展とその関係諸地域に及ぼす文化的影響】※詳細は本号所収の研究会合報告をご参照下さい

3月

12日 第7回運営委員会

【審議事項】 1. 平成29年度第6回アジア文化研究所運営委員会（1月20日開催）議事録（案）について 2. 平成30年度アジア文化研究所運営委員構成について 3. 新規研究員・院生研究員登録（4月13日締切）について 4. 平成29年度今後の予算執行予定について（平成29年3月12日以降） 5. 継続・希望購入図書について 6. 平成29年度研究員総会について（細則の内容確認含む） 7. その他

【報告事項】 1. 平成30年度研究所予算額について(内示) 2. 平成30年度井上円了記念研究助成（大型・研究所プロジェクト）について 3. 平成29年度研究所プロジェクト・大型研究活動報告（提出期限：平成30年4月14日） 4.

研究所所報

平成29年度研究所活動報告（提出期限：平成30年5月7日）
5. 各作業部会からの報告 6. 平成29年度「研究活動」報告および平成30年度「研究活動」計画書 7. 平成30年度研究員・客員研究員登録・退所（2月23日締切）について 8. その他

12日 平成29年度研究員総会議題

【議題】 1. 平成29年度活動報告について 2. 平成29年度予算執行状況について 3. アジア文化研究所細則改正等について 4. 平成30年度事業計画について（予定） 5. 平成30年度予算（案）について 6. 平成30年度運営組織（所長・運営委員）について 7. その他

(2018年度)

4月

21日 第1回運営委員会

【審議事項】 1. 2018年度研究員・院生研究員の新規登録について（登録締切：4月13日（金）） 2. 2017年度第7回運営委員会（2018年3月12日開催）議事録（案）について 3. 2018年度運営委員・任務分担について 4. 2018年度アジア文化研究所事務担当者の執務体制及び研究所の鍵の管理について 5. 2018年度予算執行について 6. 2018年度研究所活動計画 7. 2017年度研究所活動報告書（提出期日：5月7日（月））について 8. 今後の出張について 9. 所長代行について 10. その他

【報告事項】 1. 2017年度アジア文化研究所 研究員総会（2018年3月12日）について 2. 2017年度予算執行結果について 3. 2018年度予算執行計画について 4. 2017年度研究所プロジェクト研究報告書について（提出期限：4月16日（金）） 5. 2017年度大型研究特別支援助成報告書について（提出期限：4月16日（金）） 6. その他

5月

12日 学会

アジア文化研究所後援「島嶼コミュニティ学会 第14回島カフェ」「なにもない、島の魅力—アルキペラゴの島々／さぬき広島茂浦集落を中心に—」※詳細は本号所収の研究會合報告をご参照下さい

24日 第2回運営委員会

【審議事項】 1. 2018年度第1回運営委員会（4月22日開催）議事録（案）について 2. 『研究年報2018年』原稿応募について（6月8日締切予定） 3. 研究所活動評価

研究所所報

について 4. 研究所紹介（学術推進委員会よりパンフレット新調のため依頼） 5. 各作業部会の活動計画について 6. 2018年度図書購入について 7. 研究所予算執行状況について 8. 出張予定 9. 研究所使用について 10. その他

【報告事項】 1. 平成29年度研究所活動報告書（5月7日締切）の提出について 2. 能海寛生誕150年記念事業について 3. 各作業部会からの報告 4. その他

6月

9日 第1回研究例会

アジア文化研究所第1回研究例会「一带一路計画の最前線—粤港澳大湾区の変貌—」※詳細は本号所収の研究会合報告をご参照下さい

21日 第3回運営委員会

【審議事項】 1. 『アジア文化研究所研究年報-2017-』 2. 研究所活動評価について 自己点検・評価票（「7/9締切」） 3. 平成31年度予算要求について 4. 2018年度研究員、客員研究員、院生研究員申請について※通知が来ていないので締切未定 5. 研究所パンフレットについて 6. 2018年度図書購入について 7. 研究所予算執行状況について 8. 研究所使用について 9. 2018年度第2回運営委員会（5月24日開催）議事録（案）について 10. その他

【報告事項】 1. 研究所活動評価について 外部委員選出 2. 能海寛生誕150年記念行事について 3. 出張予定 4. 各作業部会からの報告 5. 倉庫整理状況 6. その他（東大からの招待について、研究所夏期予定）

【協議事項】 1. 2018年度運営委員会の開催日程について 2. 研究班のあり方について 3. 大規模研究費申請のための枠組み作りについて

30日 第2回研究例会

アジア文化研究所第2回研究例会「膨張する空路と収縮する国境線—韓国における航空業界の成長とトランスナショナルなライフスタイルの普遍化—」※詳細は本号所収の研究会合報告をご参照下さい

7月

12日 第3回研究例会

アジア文化研究所第3回研究例会「中国経済の構造変化と産業・企業発展」※詳細は本号所収の研究会合報告をご参照下さい

- 14日 学会 アジア文化研究所後援 島嶼コミュニティ学会 第15回
島カフェ「パプワ・ビアク島で遭遇した大東亜戦争の痕跡
－泉靖一の足跡を訪ねて」※詳細は本号所収の研究会合報
告をご参照下さい
- 26日 第4回運営委員会 **【審議事項】** 1. 平成31年度予算要求について（9月末提
出） 2. 新規研究員、客員研究員登録について 3. 秋
期研究支援者、RAの雇用について 4. 研究所パンフレッ
トについて 5. 2018年度図書購入について 6. 研究所
予算執行状況について 7. 研究所使用について 8.
2018年度第3回運営委員会（6月21日開催）議事録（案）
について 9. その他 定期清掃の件
【報告事項】 1. 研究所活動評価について 自己点検・評
価票（7/9提出済） 2. 能海寛生誕150年記念事業につい
て 3. 出張予定 4. 各作業部会からの報告①各部会活
動状況について（集会、ホームページ、編集、国際）②各
研究所プロジェクト活動状況について③各研究班活動状況
について 5. 倉庫整理状況 6. その他
【協議事項】 1. 2018年度運営委員会の開催日程について
2. 研究班のあり方について 3. 大規模研究費申請のた
めの枠組み作りについて 4. 科研費申請支援体制づくり
について
- 9月
- 29日 シンポジウム 東洋大学アジア文化研究所 公開シンポジウム「刻まれた
記憶と記録—中国石刻史料データベースの構築・活用と可
能性—」※詳細は本号所収の研究会合報告をご参照下さい
- 10月
- 6日 その他研究会等 アジア文化研究所子島プロジェクト報告会「シリア人によ
るNGO活動－2018年8月のトルコ調査から－」※詳細は
本号所収の研究会合報告をご参照下さい
- 20日 第5回運営委員会 **【審議事項】** 1. 『アジア文化研究所研究年報－2018－』
第53号論文提出状況及び刊行作業予定について 2. 平成
30年度予算執行状況と今後の執行計画 3. 第13回年次集
会について（1/26開催） 4. 研究活動について 5.
2019年度アジア文化研究所運営委員の体制について 6.
2018年度図書購入について 7. 研究所使用について 8.
2018年度第4回運営委員会（7月26日開催）議事録（案）

について 9. その他

【報告事項】 1. 2019年度予算要求書について（9月20日提出済み） 2. 平成31年度「井上円了記念研究助成」（研究所プロジェクト・大型研究）の募集について（10月12日提出済み） 3. 私学事業団 学術振興資金への応募について（9/13提出済み） 4. 平成30年度10月研究員・客員研究員登録申請について（9月3日提出済み） 5. 能海寛生誕150年記念事業について 6. 第4回運営委員会以降の研究所関係集会，研究所利用について 7. 出張報告 8. 各作業部会からの報告①各部会活動状況について（集会，ホームページ，編集，国際）②各研究所プロジェクト活動状況について③各研究班活動状況について 9. その他

【協議事項】 1. 2018年度運営委員会の開催日程について 2. 研究班のあり方について 3. 大規模研究費申請のための枠組み作りについて 4. 科研費申請支援体制づくりについて 5. 「アジア学」講座開設について

20日 シンポジウム

東洋大学アジア文化研究所能海寛生誕150年記念シンポジウム「新仏教徒 能海寛—哲学館からチベットへ—」※詳細は本号所収の東洋大学 能海寛生誕150年記念事業報告・研究会合報告をご参照下さい

11月

7日 第6回運営委員会

【審議事項】 1. 『アジア文化研究所研究年報－2018－』第53号について 2. 第13回年次集会について（1/26開催） 3. 研究活動について 4. 2019年度アジア文化研究所運営委員の体制について 5. 平成31年度研究員・客員研究員・院生研究員募集について（2月17日頃に締切 新規研究員・新規院生研究員のみ4月14日頃締切（※日程は昨年度，今年度は未定）） 6. 平成30年度12月～3月のスケジュールについて（1月26日（土）第7回運営委員会／1月26日（土）年次集会／2月臨時運営委員会／3月第8回運営委員会・研究員総会など） 7. 協定について（2件予定） 8. 平成30年度予算執行状況と今後の執行計画・継続図書の購入等 9. 研究所使用について 10. 2018年度第5回運営委員会（10月20日開催）議事録（案）について

【報告事項】 1. 能海寛生誕150年記念事業について 2. 自己点検・評価の回答について（11月30日締切） 3. 各作業部会からの報告①各部会活動状況について（集会，ホー

研究所所報

ムページ，編集，国際）②各研究所プロジェクト活動状況について③各研究班活動状況について 4. 出張について
5. その他

【協議事項】 1. 2018年度運営委員会の開催日程について
2. 研究班のあり方について 3. 大規模研究費申請のための枠組み作りについて 4. 科研費申請支援体制づくりについて 5. 「アジア学」講座開設について

12月

1 日 シンポジウム

東洋大学アジア文化研究所 公開シンポジウム「粵港澳大湾区における一带一路の展開」※詳細は本号所収の研究会合報告をご参照下さい

15日 学会

アジア文化研究所後援「島嶼コミュニティ学会 2018 韓国・済州特別研究大会」「東アジアのコミュニティ比較／동아세아 커뮤니티 비교」※詳細は本号所収の研究会合報告をご参照下さい

15日 研究例会

アジア文化研究所第4回研究例会 「東アジア地域における統合と交流」研究班・研究報告会※詳細は本号所収の研究会合報告をご参照下さい

16日 その他研究会等

アジア文化研究所後援「大学における海外体験学習研究会」※詳細は本号所収の研究会合報告をご参照下さい

研究班・研究員・客員研究員紹介

「東アジア経済のグローバル化とガバナンスに関する研究」

代表者：井上貴也

研究員：後藤武秀，李芝妍，深川裕佳

客員研究員：朱大明，高橋（佐々木）彩，張鋭智，中田有紀，盛岡一夫，山形勝義

「構造転換期の中国経済と社会」

代表者：郝仁平

研究員：王学群，王雪萍，統三義，梁春香，劉永鵠

客員研究員：阿部照男，飯塚勝重，南亮進，横川伸，三浦明子

「東南アジアにおける地域社会のダイナミクス ——宗教，教育，ジェンダーをめぐるグローバル化とローカル化」

代表者：後藤武秀

研究員：木内明，小林正夫，谷釜尋徳，長津一史，山本須美子

客員研究員：石井隆憲，井上星児，大城美樹雄，太田辰幸，新江利彦，末成道男，高津茂，中田有紀，中村理恵，服部美奈，本多守，吉本康子，渡邊暁子

「多文化アジアにおける異文化接触と教育」

代表者：斎藤里美

研究員：野間信幸

客員研究員：王秋華，王浄華，木下江美，陳俊森

「東アジア地域における統合と交流」

代表者：千葉正史

研究員：坂井多穂子

客員研究員：飯塚勝重，石川重雄，大川正彦，大室智人，菊池良輝，佐藤三千夫，真田安，鈴木直美，高津茂，高橋継男，竹内洋介，都甲裕文，廖国一

「アジア諸国の憲法裁判所」（退職のため，H29年度より活動休止中）

代表者：名雪健二

研究員：なし

客員研究員：齋藤康輝，徐瑞静，鈴木陽子，成瀬トーマス誠

「中国の文化と社会」

代表者：野間信幸

研究員：有澤晶子，井上貴也

客員研究員：小泉京美，田中路子

「トランスナショナリティ研究」

代表者：松本誠一

研究員：後藤武秀，小林正夫，左地亮子，志摩憲寿，長津一史，バイラ・プラサド・ビレンドラ，村上一基，山本須美子，平島みさ（奥村みさ）

客員研究員：井出弘毅，植野弘子，大畑裕嗣，加藤剛，金子正徳，北村由美，金東光，権香淑，合地幸子，小澤康則，塩崎（久志本）裕子，末成道男，鈴木佑記，俵寛司，疋田聡，宮下良子，盛田茂，森田良成，吉川美華，梁凌詩ナンシー，渡邊暁子

「近代日本・イスラーム世界関係史」

代表者：三沢伸生

研究員：子島進，ロバート・ヒューズ

客員研究員：赤堀雅幸，安藤潤一郎，石井隆憲，石丸由美，今松泰，大塚修，奥山直司，シナン・レヴェント，下山伴子，高橋圭，東長靖，仁子寿晴，ヌールッラー・サト，長谷部圭彦，福田義昭，吉田達矢

「アジアにおけるフィールドワーク実践の歴史的展開に関する研究」

代表者：箕曲在弘

研究員：小林正夫，寺内大左，長津一史，子島進，松本誠一，山本須美子

客員研究員：岩原紘伊，植野弘子，鈴木佑記，間瀬朋子

研究員・客員研究員・院生研究員紹介

【平成30年度 アジア文化研究所研究員】（◎所長，○運営委員）

有澤晶子 ○井上貴也 王亜新 王学群 王雪萍 ○郝仁平 ○加藤千恵子 桂直美 川崎ミチコ
○木内明 喜岡恵子 木村一 ◎後藤武秀 小林秀年 小林正夫 ○斎藤里美 坂井多穂子 佐々
木啓介 左地亮子 篠崎正彦 志摩憲寿 続三義（ショク サンギ） 谷釜尋徳 ○千葉正史 土田賢
省 寺内大左 ○長津一史 ○子島進 ○野間信幸 バイラ・ブラサド・ビレンドラ 平島みさ（奥
村みさ） 深川裕佳 ○松本誠一 ○箕曲在弘 ○三沢伸生 村上一基 山口しのぶ 山本須美子
ロバート・ヒューズ 李芝妍 梁春香 劉永鵠

【平成30年度 アジア文化研究所客員研究員】

赤堀雅幸 阿部照男 安藤潤一郎 飯塚勝重 石井隆憲 石川重雄 石丸由美 井出弘毅 井上星
児 今松泰 岩原紘伊 植野弘子 王秋華 王浄華 大城美樹雄 大川正彦 太田辰幸 大塚修
大畑裕嗣 大室智人 奥山直司 加藤剛 金子正徳 北村由美 木下江美 権 香淑（クオン ヒヤ
ンスク） 菊池良輝 金東光 小泉京美 合地幸子（ゴウチ） 齋藤康輝 小澤康則 佐藤三千夫 真
田安 塩崎（久志本）裕子 シナン・レヴェント 下山伴子 朱大明 徐瑞静 新江利彦 末成道
男 鈴木直美 鈴木佑記 鈴木陽子 高津茂 高橋圭 高橋（佐々木）彩 高橋継男 竹内洋介
俵寛司 張鋭智 田中路子 陳俊森 東長靖（トウナガ ヤスシ） 都甲裕文（トコウ ヒロフミ） 中田
有紀 中村理恵 成瀬トーマス誠 仁子寿晴（ニゴトシハル） スールッラー・サト 長谷部圭彦（ハ
セベ キヨヒコ） 服部美奈 疋田聰 福田義昭 本多守 間瀬朋子 三浦明子 南亮進 宮下良子
盛岡一夫 森田良成 盛田茂 山形勝義 山口道宏 吉川美華 吉本康子 横川伸 吉田達矢 廖
国一（リョウ コクイチ） 梁凌詩 Nancy 渡邊暁子

【平成30年度 アジア文化研究所院生研究員】

荻翔一 小林栄輝 程楽 中村祐也

東洋大学アジア文化研究所研究年報 投稿規程

1. <目的>

『アジア文化研究所研究年報』（以下、本誌という）は、東洋大学アジア文化研究所（以下、本研究所という）の機関誌であり、広くアジアにかかわる研究成果をとりまとめて、原則として毎年1回、年度末をめどに刊行する。

2. <投稿資格者>

本誌への投稿資格者は以下の者とする。

- (1) 本研究所の研究員・客員研究員。ただし研究員の共著においては、共著者の所属を問わない。
- (2) 本研究所の院生研究員。投稿については、本研究所院生研究員内規の定めに従う。
- (3) 本研究所の運営委員会が特別に依頼した者。
- (4) 「東洋大学研究倫理規程」を遵守すること。

3. <原稿区分>

本誌に掲載される原稿は、一般投稿原稿・プロジェクト報告原稿・それ以外のものに分ける。

4. <採択>

投稿資格者には春学期期間中に事前の投稿希望を調査する。投稿原稿の調整や掲載の採否などは本研究所運営委員会において審議のうえ決定する。

5. <東洋大学学術情報リポジトリ登録>

投稿希望者は、投稿希望調査に際して、東洋大学学術情報リポジトリに登録し原稿を電子的に複写してインターネットでアクセスできるようにすることの諾否を選択し、本研究所運営委員会に伝える。意思表明のない場合は、登録を承諾したものとみなす。

執筆要領

1. 投稿原稿は、図表・写真・注記・参考文献などを含めて、使用言語が、日本語・ハングルなどの場合は、400字詰原稿用紙80枚以内（40字800行以内）、中国語の場合は400字詰原稿用紙50枚以内（40字500行以内）で作成すること。アルファベット表記の外国語の場合は、13,000語以内で作成することとする。プロジェクト報告書に関しては運営委員会において審議の上で枚数を決定する。
2. 投稿原稿は、原則としてパソコンのワープロソフトで作成し、電子媒体（① word もしくは一太郎と② PDF の2種類）とプリントアウトしたものの双方を提出することとする。電子媒体は指定のアドレスにメールで送信すること。紙媒体のものは郵送、持参のいずれも可とする。また事務連絡の必要上、連絡先（住所・電話・FAX・Eメールアドレスなど）を明記すること。
3. 原稿提出締切日、採択の場合の著者校正などの日程は本研究所運営委員会より別途連絡する。
4. 投稿原稿には、以下のものを、順に記載すること。①題名（副題がある場合には副題も）、②著者名、③所属・身分（東洋大学以外に本務先がある場合には本務先も）、④キーワード（日本語もしくは外国語・5つ程度）⑤本文、⑥注記・参考文献（引用文献）
※なお、日本語投稿原稿の場合は英文情報（題名・著者名・所属・身分・要旨200ワード程度）、外国語投稿原稿の場合には和文情報（題名・著者名・所属・身分・要旨200字程度）を合わせて提出すること。
※申請後の題名の大幅な変更は認めない。
5. 図・表・写真を添付する場合は、以下のことに留意すること。
 - (1) そのまま原稿として使用できる状態で提出をすること。
 - (2) 本文における挿入箇所は投稿原稿の欄外に赤字で指示を明記すること。
 - (3) 通し番号・記号・キャプションを付す場合には投稿原稿の欄外に赤字で指示を明記すること。
 - (4) 図・表・写真に関しては、運営委員会の判断により、点数・大きさなどを変更する場合がある。
6. 提出原稿は、付記の表記法にもとづき、完成原稿の希望に準じて提出すること。
7. 外国語特殊文字に関しては、投稿原稿の当該部分に赤丸をつけ欄外に赤字で指示を明記すること。
8. 投稿原稿は採否にかかわらず原則返却しない。
9. 不明な点は、本研究所運営委員会編集担当および本研究所付事務方に問い合わせるものとする。

付則：投稿規程の改変

本投稿規程は必要に応じて運営委員会の議を経て改定するものとする。

(2017年5月20日改定)